

議会だより だいせん



28号

2012年4月26日発行
鳥取県大山町議会



新年度予算で白熱 7

特集！若手起業家に聞く 29

15人が一般質問 13

3月

元気で安全・安心・安定のまちづくり

平成24年度予算を決定！

3月定例議会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開かれました。

平成24年度一般会計、特別会計など19会計の当初予算は、予算審査特別委員会を設置し、集中審議を行いました。その結果、議案はすべて原案通り可決されました。

一般会計では、大山恵みの里公社への補助金削減の修正議案が提出されましたが、否決となりました（詳細は7～8ページ）。

そのほか、条例の改正・制定、平成23年度一般会計補正予算などを審議しました。

大山恵みの里構想調査特別委員会の設置など、議員発議5議案も審議し、可決されました。男女共同参画推進条例は一部修正され、可決になりました。

15人が、町長と教育委員会に一般質問を行いました。



不妊治療費の助成 330万円

人工授精・特定不妊治療・不育治療を受ける人に助成します。



若者向け住宅の建設 501万円（リース料）

若者向け住宅8戸を中山地区にリース方式で新築します。



ロータリー除雪車の購入 2500万円

除雪車を1台増やして効率を高めます。



畜産関係の臭気対策 652万円

6つのモデル農家で6カ月間の試験を行い、臭気濃度を測定します。



子育て支援センターを新設 1586万円

中山と大山の拠点保育園に併設し町内3カ所になります。



沿岸部に屋外子局を増設 2761万円

海沿いに防災無線放送設備を6カ所増設し、津波などの災害に備えます。

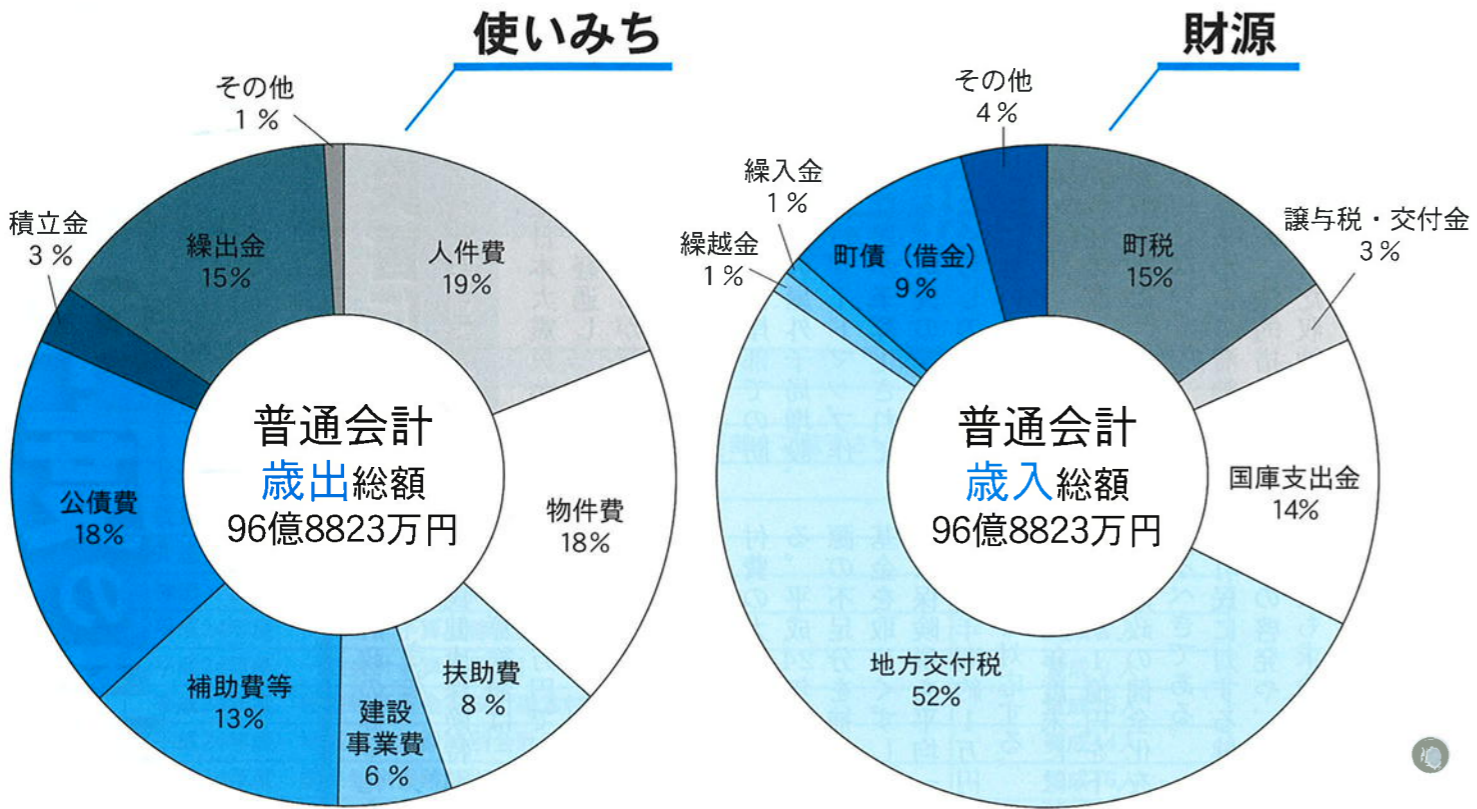
ハザードマップの作成 756万円

土砂災害に津波を加えた防災マップを作成し、すべての家庭に配布します。

主な新規事業

大山町の 財政状況は？

平成24年度の当初予算は、普通会計で前年度に比べ約1億7000万円少なくなっています。また、全会計を合わせた町債（借金）は、平成24年度末で約213億円、前年度に比べ約2億円増える見込みです。基金（貯金）は、平成24年度末で約45億円、前年度に比べ約2億円増える見込みです。

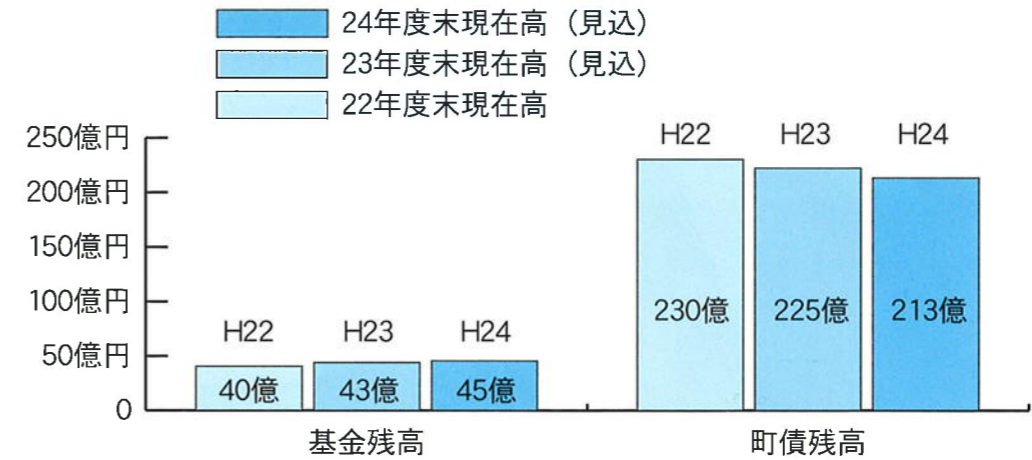


【普通会計】
一般会計に土地取得、住宅新築資金等貸付事業、開拓専用水道事業、情報通信事業など公営事業会計以外の特別会計を加えたものです。



○普通会計 内訳 (金額・説明)

項目	平成24年度	平成23年度	比較増減	説明
町税	14億6530万円	14億7723万円	△1193万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
譲与税・交付金	2億9974万円	3億6826万円	6852万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
国庫支出金	13億6758万円	14億2950万円	△6192万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
地方交付税	50億5000万円	51億2000万円	△7000万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
繰越金	1億0289万円	1億0474万円	△185万円	前年度からの繰越金
繰入金	8762万円	2612万円	6150万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
町債(借金)	9億0510万円	9億0380万円	130万円	町が事業を行うために借り入れるお金
その他	4億1000万円	4億3030万円	△2030万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入・繰越金
合計	96億8823万円	98億5995万円	△1億7172万円	
人件費	18億2074万円	18億3312万円	△1238万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
物件費	17億2743万円	17億4167万円	△1424万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
扶助費	7億8456万円	7億7938万円	518万円	医療費・子ども手当などに使うお金
建設事業費	5億3730万円	5億1443万円	2287万円	道路整備・建物等の建設に使うお金
補助費等	12億5170万円	12億4249万円	921万円	補助金・負担金として支出するお金
公債費	17億8564万円	20億0073万円	△2億1509万円	町の借金を返済するために使うお金
積立金	2億7465万円	2億1412万円	6053万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金	14億1199万円	14億3279万円	△2080万円	特別会計に繰出金として支出するお金
その他	9422万円	1億0122万円	△700万円	施設維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	96億8823万円	98億5995万円	△1億7172万円	



○町債残高内訳 (平成22年度～平成24年度末見込)

会計名	22年度末現在高	23年度末(見込)	24年度末(見込)	増減額
一般会計	119億1421万円	119億0265万円	114億4109万円	△4億6156万円
特別会計				
住宅新築資金	7147万円	5968万円	4883万円	△1085万円
簡易水道	3146万円	5140万円	5250万円	110万円
国保直診	3億8770万円	3億4451万円	3億1931万円	△2520万円
介護	1700万円	5700万円	3800万円	△1900万円
農業集落排水	47億9779万円	45億7043万円	43億3065万円	△2億3978万円
公共下水道	42億7910万円	40億5554万円	38億3741万円	△2億1813万円
風力発電	1億5274万円	1億3668万円	1億2038万円	△1630万円
宅地造成	1億0585万円	4955万円	1875万円	△3080万円
情報通信	12億7838万円	11億0187万円	8億8757万円	△2億1430万円
地域休養	-	2億1000万円	2億4150万円	3150万円
小計	111億2149万円	106億3666万円	98億9490万円	△7億4176万円
合計	230億3570万円	225億3931万円	213億3599万円	△12億0332万円

○基金・町債残高 (平成22年度～平成24年度末見込)

		22年度末現在高	23年度末現在高(見込)	24年度末現在高(見込)
基金(貯金)残高	一般会計	37億4809万円	40億1969万円	42億0292万円
	特別会計	3億0092万円	3億6710万円	3億4763万円
町債(借金)残高	一般会計	119億1421万円	119億0265万円	114億4109万円
	特別会計	111億2149万円	106億3666万円	98億9490万円

新年度の予算はどう議論されたのか？

災害に備え

予算審査特別委員会報告

①東日本大震災から丸一年が経過し、防災計画の見直しが行われている。

平成24年度新規事業として、沿岸部での防災無線の屋外子局増設、津波ハザードマップ作成などが予算化されている。町民の安心・安全な暮らしの実現と、災害に強いまちづくりをめざすべきだ。

にし、財政の健全化をはかるべきだ。

③国民健康保険特別会計の予算総額は、24億8697万円で、前年度と比較して1億637万円(4.5%)増加している。

予算委員会では どんな議論が 交わされたのか？



【問】結婚対策事業は、6年間実施し成果がない。民間の会社でも行っている事業を、行政がする必要があるか。

計から1億円の繰り入れをしている。

味の問題か。

一目でわかる賛否一覧 3月議会 提出議案

議案	結果
男女共同参画推進条例の制定	修正案 賛成12人
(修正案の審議の流れはページ最下部をご覧ください)	修正除く原案賛成13人
予約型交通システムに関する条例の制定	賛成16人
税条例の一部改正	賛成16人
介護保険条例の一部改正	賛成16人
神田・渡道辺地に係る総合整備計画の変更	賛成16人
平成24年度 一般会計予算【修正案】	賛成8人
平成24年度 一般会計予算【原案】	賛成9人
平成24年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	賛成16人
平成24年度 地域休養施設特別会計予算	賛成14人
平成24年度 国民健康保険特別会計予算	賛成16人
平成24年度 介護保険特別会計予算	賛成16人
平成24年度 宅地造成事業特別会計予算	賛成15人
工事請負変更契約の締結(大山町名和地域休養施設整備工事)	賛成16人
発議案	結果
大山恵みの里構想調査特別委員会の設置	賛成11人
TPP参加に向けた関係各国との協議中止を求める意見書の提出	賛成14人
公的年金2.5%の引き下げに反対する意見書の提出	賛成16人

陳情審査の詳細は27ページ 採決は17人(野口俊明議長は採決に加わりません)で行い上記以外の議案はすべて全会一致で可決されました。

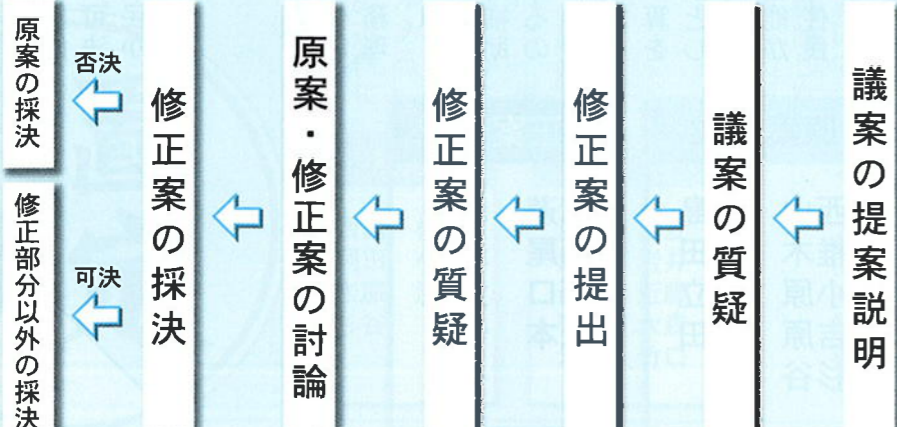
【地域休養施設特別会計予算】平成24年度も直営で施設を運営して、新たに多目的広場や施設の改装などをします。主な経費は、山香荘本館の空調・照明設備やアプヘルハウスの屋根などの改装費約3150万円です。



【介護保険料条例の一部改正】3年に1回見直す介護保険料を、第5期(平成24年度から26年度)の基準額を4450円から5490円に改正します。増額の主な要因は、財政安定化基金への返済と、介護給付費が増加傾向にあることです。

議案に対して修正案が出ると...

原案に対し修正案が提出され、本会議で修正案が可決された場合、可決のおよぶ範囲は修正部分のみとなります。その後、修正部分以外の原案を採決して、議案としての可否が決定されます。



大山恵みの里構想 調査特別委員会の設置

提案議員：近藤・西尾・米本

【主な提案内容】

大山恵みの里づくり計画から5年経過したので、特別委員会を設置して総点検することが必要。

質疑

議会の関わり方

【椎木議員】

①議会は合議体として公社の運営を承認してきた。足を引っ張るようなことを議会はつとむべきだ。
②行政と議会在が補完し合い、改善していく方がよりよいと考えるがどうか。

【近藤議員】

①足を引っ張る、協力するという考えでのぞむ必要はない。議員全員で考え議論するよい機会だ。
②方針転換すべきかどうかは、議論してみなければわからない。

構想と公社

【岩井議員】

公社の問題は、専務理事の辞任に端を発していると思うが、なぜ大山恵みの里構想の特別委員会なのか。構想と公社を分けて考えることはできなかったのか。本当に必要なのか。

【近藤議員】

大山恵みの里構想の具現化組織である公社を議論するに、設立の経緯である全体構想をとらえ直すことではできない。

情報の公開

【竹口議員】

特別委員会は調査・議論し、議会の意思が一つに定まるといふ点がメリットと考える。全員協議会ではなく、特別委員会での議論を求める理由は、経過を見てもらいたいということではないか。

【近藤議員】

その通りだ。本会議での報告など、住民がケーブルテレビで見られる機会が増える。大きな問題なので、住民がより多くの情報にふれられるように議論をすべきという提案だ。

必要性

【西山議員】

全員協議会で議論すればよいと思う。特別委員会を設置する必要性は何か。

【近藤議員】

大山恵みの里公社が順調にいくとは思えない。大山恵みの里づくり計画から5年経過したこの機会に、総点検することが必要だ。

討論

【原案に反対】

…西山議員
町長は管理職を配置してでも、町民の期待に応えようとしている。

も変えて予算を組んだと聞く。構想に沿ったやり方になっていくか議会でチェックする必要がある。いまこの機会に特別委員会をつくり、議員全員が同じ情報を共有し、協議していくことは有意義だ。

【原案に賛成】

…足立議員
公社について、構想に適した運営ができていくか、議会が見守る必要がある。専務理事の退任により、体制も考え方

反対

山田原谷
西岡吉杉

賛成

足立近藤森口
鹿遊西野米

設置決定

【主な提案内容】

大山恵みの里公社の事業方針に不可解な部分があるため、公益事業と農産加工施設の補助金を計1000万円減ずる。

質疑

補助のタイミング

【杉谷議員】

大山恵みの里公社の方針は、公社に任せたらよい。台湾への海外戦略も公社内部の話。最初は補助金を認めて、理事会の話聞いてもいい。

【近藤議員】

大山恵みの里づくり計画にもとづいて、公社は事業を推進する。そのため補助金を支出する。海外での販路拡大は疑問だ。必要性がはっきりしてから予算を追加してもよい。

討論

【原案に賛成】

…鹿島議員
公社の運営・事業に關しては、副理事長として出ている議長を通じて、議会の意思を反映させればよい。

ばよい。修正案は減額するだけだ。町民・議員とも納得できる予算にすべきだ。

けて、議会は検証し、必要ならば修正予算を通せばよい。議会はチェック機能が必要。原案通り可決すれば、議会は町民から反発を受ける。

【原案に賛成】

…西山議員
大山恵みの里計画の具現化をする組織の一つが公社だ。雇用創出をし、町の活性化をはかることが、合併後の一体感になる。

152年ですぐに利益が上がるものではない。補助金は、公社事業推進への支援だ。議会の責任も重い。

…竹口議員
新年度、公社の体制が新しくなる。専務理事が3月末で退職し、新たに役員職員を配置する。要望された補助金をそのまま認めるのは疑問がある。

【修正案に賛成】

…西尾議員
議会に大山恵みの里構想調査特別委員会を設置された。この調査結果によっては、公社の方向性が変わる可能性もある。専務理事が3月末で退職するなど、問題が出てきた。

専務理事は、台湾などへの販路拡大で、ほとんどの時間を費やしたが、商品は町の産品がない。売れる物ができてから予算を付けられ

…諸遊議員
議会のチェック機能を強化するために、今後の予算が必要なら、理事会・評議員会でしっかり練ってもらおう。その提案を受

【修正案に賛成】

…諸遊議員
公社は自立が必要だ。公社の計画を見直すために、今後の予算が必要なら、理事会・評議員会でしっかり練ってもらおう。その提案を受

議会のチェック機能を強化するために、今後の予算が必要なら、理事会・評議員会でしっかり練ってもらおう。その提案を受

議会のチェック機能を強化するために、今後の予算が必要なら、理事会・評議員会でしっかり練ってもらおう。その提案を受

原案可決

原案賛成

西山 鹿島
椎木 岡田
小原 足池
吉原 池

修正案賛成

岩井 諸遊
近藤 西尾
大森 野口
竹口 米本

【条例の目的】
・豊かな森林で長年蓄えられた大山の恵みである地下水の保全をはかる

県内2例目！ 地下水を守る条例制定

総務委員会 質疑

【問】昔からある井戸も対象になるのか。
【企画情報課長】家庭用では該当するものはない。
【問】採取量の規制がない。開発行はどうか。
【企画情報課長】元の理解、条例に合えば問題ない。
【問】農業用に設置している人も、水量測定器を付けるのか。
【企画情報課長】大きな施設には付けてもらう。
【問】試掘調査はどんな調査か。
【企画情報課長】周辺の影響調査。

【ミネラルウォーターの都道府県別生産数量】
(2011年 日本ミネラルウォーター協会調べ)
1位 山梨県 約88万KL (全国シェア 33.9%)
2位 静岡県 約50万KL (全国シェア 19.2%)
3位 鳥取県 約31万KL (全国シェア 11.9%)
4位 兵庫県 約16万KL (全国シェア 6.2%)



総務委員会での議論

【委員】この条例は、水をビジネスにする人だけでなく、農業者にもあてはまる。
【委員】協働して、限りある地下水の保全をはかることが大事だ。
【委員】条例には、どの程度の調査をするのか詳しく書いてない。
【企画情報課長】水を採取するには、許可基準すべてに合致が必要。農業用水も一定規模以上は申請が必要になる。
【委員】試掘井戸の規定がない。
【委員】周りの井戸に影響があれば使えない。しかし、正確な調査をする多額の費用がかかる。
【委員】実際に、周りの井戸に影響が出るかどうか、行政で判断できるのか。
【企画情報課長】手続きをしないで井戸を掘ると問題だが、通常の手続きをすれば成り立つ。
【委員】新たに農業参入する人には金銭面でブレイキをかけることにならないか心配。
【委員】すでに商売をしている人は、水道料金を払って営業をしている。公平感を保つためには、この条例が必要になる。
【委員】許可採取者は、口径の大きな規模の井戸という前提がある。

本会議での採決で...

原案通り 全会一致で 可決

【条例の施行】
・平成24年7月1日から施行されます。
現在、井戸を使用している方は、企画情報課までお問い合わせください。

【主な提案内容】
・男女が対等な立場で社会に参画し心豊かで活力のある町をめざす

男女共同参画 推進条例の制定

質疑

条例の 主旨

【西山議員】
①憲法が示す人権条項は。
②国連人権条約の30の権利のリストが入っていると解釈してよいか。
③この条例は何を大事にするか。
【人権推進課長】
①憲法の何条というところまではない。憲法の基本理念を重視する考え。
②国際社会の取り組みとの連携は入っている。
③社会的に男女が平等で、ともにその責任を負うことを大事にする条例。

町での 必要性

【近藤議員】
①県条例があるのに、なぜ町で条例を制定しなければならぬのか。
②この条例を制定したうえで、どう具体的に事業を進めるのか。予算をどのように考えているのか。
【町長】
①町としての姿勢を条例として示し、取り組みを進める。
【人権推進課長】
②今年度、男女共同参画セミナーを計画している。その講師謝礼などを予算計上している。

相談の 窓口

【岩井議員】
①検討委員会の男女比率は。
②男女共同参画を進めるための相談窓口などはどこか。
【人権推進課長】
①男女比率は、現在7対3である。当初は6対4であった。
②特に男女共同参画だけの受け皿は考えていない。男女共同参画も含めた人権分野の相談窓口は、人権推進課を中心にしている。

修正案

提案議員：椎木・諸遊・米本

【町長提案の条文の一部】

- ①男女が、互いの性を尊重し、性と生殖に関する健康と権利を認め合うこと。
- ②町の附属機関の委員数は、男女いずれか一方の数が委員総数の10分の4未満とならないよう努めなければならない。
- ③男女いずれか一方の委員の数は、委員総数の10分の4未満であってはならない。

【議員提案で修正された条文】

- ①男女が、互いの性を尊重し、生涯を通じて、自らの身体について自己決定を行い健康を享受する権利を認めあうこと。
- ②町の附属機関の委員数は、男女の数が均衡となるよう努めなければならない。
- ③委員の数は、男女の数が均衡となるよう努めなければならない。

討論

【原案に賛成】
…吉原議員
法律では個人の尊厳と両性の平等で制定されなければならないという数値は重要で、各審議会での女性登用数は少ない。積極的に責務を与えるべきだ。
【修正案に賛成】
…西山議員
日本は国際社会の一員である。国際会議の内容を国が認め、本町でも認める国際感覚は当然だ。
【原案と修正案に反対】
…近藤議員
町としても推進していく。鳥取県ではすでに条例を制定している。町条例での制定は住民が関心を持つことに意義がある。もう少し時間をかけるべきだ。
【修正案に賛成】
…米本議員
男女共同参画推進プランは制定から5年が経過し、平成24年度から新しく2次プランを策定する。10分の4の修正は男女平等を強く求めたものだ。

原案賛成	両案反対	修正案賛成
吉原野口	鹿島藤竹口	椎木原諸遊尾谷米 山田立岩池大森

修正 可決

常任委員会の活動

教育民生 常任委員会

地域で育む 学校支援ボランティア

学習支援・環境整備・安全パトロールなどの活動を行うため、小・中学校の実態に応じて地域住民のボランティアを配置。児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活に向けた積極的な取り組みを実施する。

学校教育課

誕生した拠点保育園



地域子育て支援センター

名和地区に加え、大山・中山地区に新設した保育園にも設置することになった。親同士の交流や、家庭での育児不安などの相談、子育てサークルなどの育成支援、子育てに関する情報の提供などを行う。

幼児教育課

脳ドック検診助成

脳動脈瘤を発見しクモ膜下出血の防止や、自覚症状のない脳梗塞など脳の病気を早期発見するため、検診費用を助成する事業。予防医療の必要性を認めた。

保健課

集団健診の交通費助成

健診（検診）の受診率の向上をはかるため、新交通システム（デマンドタクシー）を利用しなければ健診（検診）が受けられない人に、利用料金を免除する。さらなる受診率の向上を求めた。

保健課



議会では、より詳しい審議をするため3つの常任委員会を設置し、担当を分けた活動も行っています。委員会の様子は、ケーブルテレビで生放送が行われていませんが、不定期で録画したものを放送しています。また、本会議と同様に委員会の傍聴もできますので、議会事務局までお問い合わせください。
大山町議会事務局 0859-54-5213



【平成24年3月議会の総務常任委員会】

経済建設 常任委員会

下水処理施設を視察



上下水道施設の調査

町内の水源や下水処理施設など13カ所で現地調査を行った。下水処理施設は、国土交通省補助の公共下水処理施設と、農林水産省補助の農業集落排水処理施設がある。この2つは同じ機能で、距離的に集約可能な施設があるため、以前から集約化を求める意見が出ている。

大山恵みの里公社

平成24年度の補助金を検討することを含めて、公社の現状報告などの聞き取りを行った。インターネットを活用したPR事業・給食への食材供給事業・農産加工事業などへの補助に対し異論が出た。（補助金を決める本会議での議論の内容は7～8ページ参照）

公社が運営する加工所



大山観光局と懇談



関係団体との懇談

大山町観光協会の組織の一つである大山観光局と意見交換を行った。年間のスキー場利用者数や宿泊客数の推移データをもとに、町の観光政策を中心とした議論が交わされた。また、今後の観光局の事業展開や、スキー場運営会社の経営戦略の説明に対し提案をした。

総務 常任委員会

琴浦町の標高表示



現地調査

琴浦町の標高表示を視察した（↑写真）。東日本大震災を受け津波対策として、鳥取大学と連携し町内45カ所を測定した。視覚から入り、避難誘導や防災意識の高揚に役立つと感じた。本町は25年度実施予定だが、すぐにでも実施を検討する必要があると感じた。

30年以上かかる

平成24年度新規の地籍調査は、1.21km²。このまま進めば30年以上もかかることが予想される。事業発注の方法・予算など早期に終了するよう求めた。

地籍調査課

予算の捻出

予算の編成で、削減が可能な部分は、施設維持費に係るところが多い。合併特別債が無くなる平成27年度以降を考慮し、長期スパンで施設の統廃合や利用方法の検討を求めた。

総務課

未収金は

住宅新築資金特別会計には、多額の未収金が発生している。今後、本人や保証人の死亡が多くなることも予想される。法的措置による解決方法の検討を求めた。

人権推進課

徴収金額と経費

近年、滞納徴収の成果が向上していないことを指摘。徴収金額に対して徴収にかかる経費が多いので、改善を求めた。

税務課

無縁社会が 進んでいる！

町長 集落を基本とした
支え合いが大切

【西山】無縁社会が進み孤立死が年間3万2000人とも報じられている。

【町長】家族・地域・会社などにおける人との絆が薄れ、孤立する人が増えている。集落を基本とした支え合いのまちづくりが大切と考える。

【教育委員会】自分や友だち・家族・地域を大切に教育そのものも、無縁社会回避につながると信じている。

【西山】人の世にいのちのぬくもりあれ、人間にいのちの輝きあれという言葉が成り立つまちづくりを。

【町長】個人の意思や能力や責任によらない不合理な疎外や差別がある。その結果として貧困や生活苦、孤立や孤立死もある。

このことも念頭におきながら、無縁社会を食い止めることに全力で取り組む覚悟である。

【西山】町の最高規範として、自治基本条例を制定してはどうか。

【町長】全国的にも少しずつ取り組みが進んでいる。大切なのは住民が自治基本条例の意識を持ち深められる環境づくり。

その上で、仕組みづくりの声を聞き、進めていくことが大切。時間をかけて考えていきたい。



西山富三郎 議員



人口が減少し空き家も増える

自治基本条例 の制定を！

町長 時間をかけて
考える

【西山】自治を進めるための基本原則は。

【町長】地方自治で重要なことは、住民自治（その地域の行政を担うのは、住民の意志と責務にもとづくこと）と団体自治、その自治体の権限と責任で地域の行政を行うことである。

集落の健康診断・まちづくり委員による

まちづくり会議・まちづくりグループの交流連携活動・自主防災組織の育成など、住民が積極的にまちづくりに参加できる機会を設けるよう努めている。「自分のまちは自分の手でつくり、守り、育てる」という意識を高めていく。



御来屋地区の炊き出し訓練

あなたの声を町政に

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
14	1. 無縁社会が静かに深く進む 2. 大山町自治基本条例の制定	西山 富三郎
15	1. 旧中山町庁舎の今後	池田 満正
	1. 介護保険の今後の見通し	杉谷 洋一
16	1. 警察署を大山町に	米本 隆記
	2. 恵みの里公社の運営、恵みの里構想	
17	1. 「社会保障と税の一体改革」を問う	大森 正治
	2. 中学校体育武道の必修化にともなう安全対策	
18	1. 事業仕分けと見直し	岩井 美保子
	1. 町の防災対策	足立 敏雄
19	1. 恵みの里公社の専務理事退職と今後の運営	諸遊 穰司
	2. 山香荘「食の魅力の館」事業計画	
20	1. 大山町予約型交通システム	吉原 美智恵
	2. 6次産業化の推進	
21	1. 子どもにスキー合宿	西尾 寿博
	2. マイクロ水力発電	
22	1. 基金の使い方	近藤 大介
	2. 人材育成施策	
23	1. 町長任期最終年度の予算編成	野口 昌作
	2. 大山恵みの里構想の取り組み	
	3. 山香荘の新レストランと今後の方針	
24	1. 行政機構の見直しと職員定数	鹿島 功
	2. 職員給与状況	
25	1. TPP参加に異議を	岡田 聡
	2. 教育方針	
26	1. 森のようちえん	竹口 大紀
	2. 首長が定める教育目標	

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます

警察署の移転先は？

町長 ぜひ、大山町に！

【米本】八橋警察署の移転という言葉を聞くようになった。大山地区から現在の八橋警察署までは相当時間がかかる。交通や利便性を考え、もし、移転となれば、管轄地域の中心あたりの本町に、警察署の誘致ができないか。

また、町有遊休地の無償提供は。【町長】八橋警察署が本町に移転となれば、防災の観点からも喜ばしい。移転してもらせるように働きかけをしたい。遊休地の提供は、町有地の活用になるので考える。



移転が予定されている八橋警察署



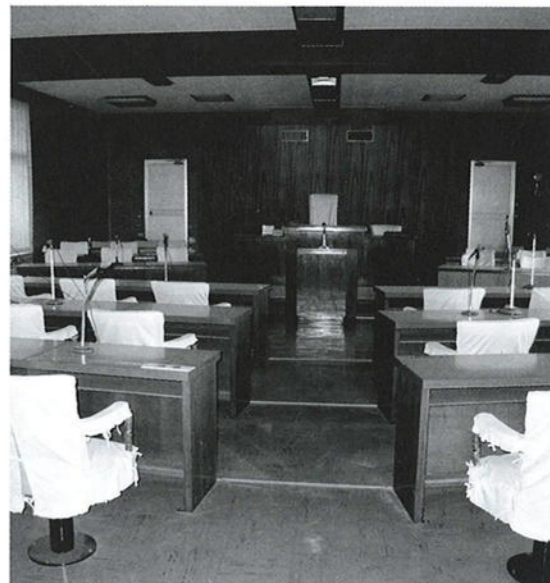
米本隆記 議員

旧中山町庁舎の活用は？

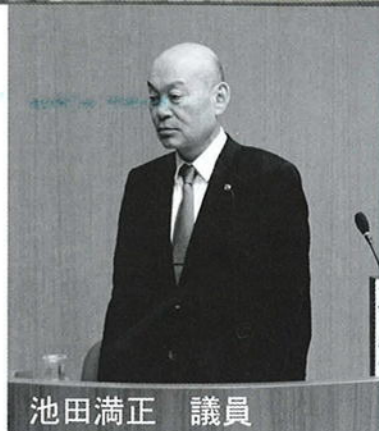
町長 将来に備え 適正に管理する

【池田】大山町が誕生し7年。旧中山町庁舎は竣工して46年が経過している。旧庁舎は、今後も倉庫として使用するのか。それとも取り壊しも含め、他の使用方法を考えているのか。

【池田】今後10年、20年使用するとすると、使用方法、内部の整理、建物全体の補修などどうするつもりか。【町長】内部の整理は心配いただいている通りである。適正に活用できるように書類などの整理を指示した。建物全体の補修は、旧中山町庁舎に限らず、計画的に修繕を行う。今後、必要な建物の適正な維持管理に努めていく。



活用されていない旧中山町の議場

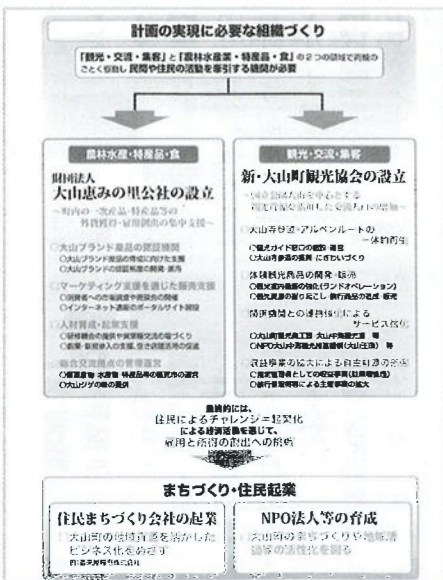


池田満正 議員

恵みの里構想は 大丈夫か？

町長 着実に進める

【米本】公社は大山恵みの里構想の計画の中心になる組織。その専務理事が退職する。平成23年度の収支見込みは。【町長】流通部門が少し苦戦、道の駅は順調に、加工所は助成があり収支均衡。【米本】常勤専務が残した実績は。【町長】出荷商品の製品化と品質確保ができた。また、部門ごとの分析が可能な経



大山恵みの里づくり計画

理の体制にした。【米本】組織移行が決まれば、核となる人材は。【町長】当面、町職員も支援していくことが必要。将来は人材的にも経営的にも民間企業として自立させるため、必要な支援をする。【米本】常勤専務の採用は、町長の考えであるが責任は。【町長】任期中のことであり、公社運営に対し、関係者に心配をかけた。心よりおわびする。【米本】大山恵みの里構想の中心にある、公社のあるべき姿は。【町長】町内の一次産品や、特産品などの販路拡大による所得向上と雇用創出。【米本】大山恵みの里構想が停滞しているように思う。任期残り1年あまりで何をやるつもりなのか。【町長】何を以て停滞という判断か、少し理解ができない。総合計画にある目標に向けて、全力で取り組む。ひとつひとつ着実に進めていく。



杉谷洋一 議員

【杉谷】高齢世帯や核家族化で、介護が困難となり、社会問題化している。介護保険の見通しは。【町長】町内介護施設の充足率は、県・町指定の施設を合わせ

介護保険料の見通しは？

町長 上昇は避けがたい

ると高い。高齢化が進み、介護制度を維持するには、介護保険料の上昇は避けがたい。【杉谷】介護保険料の改定が提案され、保険者の負担が1095円増の5490円と、大幅増になった。【町長】大きな要因としては、重度の介護サービスを増やす必要。また、地域密着型施設を開設し、待機者が施設を利用したため、料金がかさんだ。待機者の割り合いは、近隣町村と比較して低い。【杉谷】要介護状態の予防事業は。【町長】3B体操教室や認知症サポーター養成講座などを実施している。【杉谷】脳ドックの取り組みは。【町長】昨年もれた人も含めて定員を増やし、要介護者の抑制につなげたい。



介護予防は大切